

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 6 年 7 月 30 日 (火)
クラス名(年齢)	ぞう組(5歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

インセクトハウス作り・1

<テーマの設定理由>

虫探しに夢中になっていた子どもたち。虫探しから「虫の家はどうなっているの？」の疑問から図鑑で調べていたので、虫の家を作ってみて観察出来たら楽しいと思い取り入れた
--

2. 活動スケジュール

身近な自然環境の中に暮らす生き物がどのように生活しているかを図鑑を見て、暮らしやすい環境に似た家を考えてつくる。
--

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

木の箱(4)、アイスの棒、石、紙ストロー、木の枝、紙粘土、段ボールの破片、果物ネット、ボンド、ミラーレスカメラ

4、探究活動の実践

<活動内容>

園庭での虫探しから生育環境を考え、それに近い環境を作れるよう、廃材を使いグループごとに作ってみる
--

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 図鑑を見て虫の生活環境について友達と話す。「土の上に花が咲いているね」「花がなくなるとどうなるのだろう」等、グループごとに出了意見を全体で出し合う。 	② グループごとに木の箱(虫の家)の中に詰める物や量を子ども達が考えて決める。「先に詰めるものは何がいいかな」「紙粘土は重たいから一番下がいいかもね。」等話し合いながら紙粘土を箱の底に詰め色々な廃材をつけるように配置し始める。 
③ ハウスが動いてしまう事に子どもたちが気づいた。グループで考え、「ボンドを使い箱の入り口にアイスの棒を貼ろう」と話し合いが始まり作り始めた。 	

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

春から虫探しに熱中する子が多く、どのあたりを探したら虫が見つかるかななどを園庭で体験をしていたことで、思っていた以上に虫がどのような所を好むかが分かっている子が多かった。また、虫が暮らしやすいとは？に「雨がかったら冷たいね」「穴があった方が入りやすいよ」など自分の気づきを出し合いながら、箱の中に廃材を詰めることが出来た。グループごとにやってみたが、図鑑をよく見て話し合いどのようにすると良いかなど、子どもたちの考えをたくさん出し合うことが出来ていた。
--